ちよプレス

Chiyo Press

ちよだプラットフォームスクウェアから、旬な情報をお届け

no.03

2015年3月発行

皇居を彩る美しい桜。その担い手はCPSの一員

桜コーディネーターに聞く 再生事業と桜の持つ魅力

日本の春を象徴する風物である、桜。その名所が千代田区には数多くあります。桜を通して千代田区を盛り上げてきた入居者の、桜の工房アトリエさくら・岡村比都美さんにお話を伺いました。

千鳥ヶ淵や江戸城外堀の土手筋など、千代田区内には約3千本もの桜の樹があります。一説では、花がきれいに咲くのは樹齢数十年までといわれますが、老齢化を迎えたり、周囲にビルが建ち風の通りや日当たりが変わるなど環境の変化により病害虫が発生するなどして、樹が弱っていたことから、2003年度から同区では「区の花さくら再生計画」をスタートし、さまざまな試みを行っています。その一つである「さくらサポーター」の一人として助成金を受け、活動しているのが岡村比都美さん。区民向けに開いているワークショップ「さくら遊楽会」は、既に10年が経過しました。

「桜の花を使った炊き込みごはんやデザートを作ったり、桜の落ち葉を拾ってきて羊毛を染めてから織物にしたり、桜を押し花にしたものを手漉き和紙の中に入れて小物を作ったり。自分の手で桜を使ったものづくりをすることで、この樹の持つ奥深い魅力に触れていただけたらと思っています」。

そんな岡村さんが桜に魅了されたきっかけは、母校の桜が伐採されると知ったこと。研究生として通っていた大学のキャンパスには珍しい品種も多くあり、それを守りたいという気持ちから桜についての知識を深め、さまざまな可能性に魅了され、現在では〝桜コーディネーター〟として活動しています。

「染色は特に面白いですね。花ではなく枝を使って染めるのですが、茶色で無骨な外見ながら、煮出してみると美しいピンク色が出たりする。そのために樹から枝を切るのではなく、樹の健康のために冬場に剪定した枝を使うのも無駄がなくていいですね」。

千鳥ヶ淵にある桜で染めたハンカチなど、千代田区観光協会と共同制作した商品も開発し、外国人の方にも人気だそう。同区の美しい桜を次世代に受け継ぐさまざまな活動と、こうした花の持つ奥深い魅力を知ることで、今年のお花見は例年よりもぐっと魅力的に感じられるかもしれません。

CPS界隈で楽しめる珍しい桜

近代美術館前の代官町通りには珍しい品種もあり、ぜひチェックを。

松月(しょうげつ)

八重咲きの大輪で、何輪か集まって下に向かい枝垂れ咲く。薄い紅色で、ふちは赤く、中心が白いのが愛らしい。ソメイヨシノよりも遅く咲き始め、花が咲いているうちから葉が出ることも。

普賢像(ふげんぞう)

淡紅色の八重咲きの大輪で、室町時代からあったとされ、4月中旬から咲く。花の中心から出た二本の緑色の葉のようなおしべが、普賢菩薩の乗った象の鼻に見えるところからの名。

嵐山(あらしやま)

花びらが薄紅色の大きな円形である一重の可憐な花で、若葉は紅紫色。サトザクラの栽培品種で、桜の名所である京都・嵐山が由来。4月中旬から咲くため、ソメイヨシノを見逃した人も。

千代田区さくらまつり(写真左)

今年の千代田区のさくらまつりは3月27日(金)～4月5日(日)に開催予定。岡村さんが開発した桜で染めたハンカチ(写真右)や、桜を丸ごと砂糖でコーティングしたものと桜の香りのする砂糖が入った紅茶に最適な「ちよだのあ舞さくら」(写真中)なども販売。

桜の工房アトリエさくら　岡村比都美さん

おかむら・ひとみ●外資系航空会社を経て、母校で研究生として桜について研究。2009年に「アトリエさくら」をスタートし、CPSに入居。オープンネストを利用。ちよだ青空市にも手作りジャム等を出品。http://okamura-hitomi.com/

CPS News

安否連絡システム運用開始。もしもに備えてぜひ登録を!

３月９日、入居者の交流やCPS施設の改善などを話し合う「タウンミーティング」が開催されました。20人ほどの入居者が参加した今回はこの春から導入された「安否確認システム」の説明と、通例のタウンミーティングの二部構成で実施。積極的な話し合いが行われました。

「安否連絡システム」は、災害時、１階に設置された安否連絡システム用カードリーダーに入居者証をかざすだけで、安否情報一括検索サイト「J-anpi」に安否情報が登録されるシステム。もしもの時に備えて、ぜひ１階コンシェルジュで登録をお願いします。

また、地方(生産者)と都会(消費者)を結ぶことで、食を巡る新しい関係を構築する「ちよだフードバレーネットワーク」が、地方市町村の名物料理や食材を販売するブースを千代田区さくらまつりに出店する旨の報告もありました。次回のタウンミーティングは夏頃を予定していますので、初めてのかたもぜひご参加ください。

安否情報一括検索サイト「J-anpi」へのアクセスはこちらから!
http://anpi.jp/

入居者メッセージ Message

柴田靖之(しばたやすゆき)さん
オフィス・フレーザー(合)
利用場所:オープンネスト

業務の効率化をお手伝いします

大手自動車メーカー関連会社でナレッジマネジメントの経験を積んだ後、2005年に独立。2014年４月より入居。生産性が高く、従業員幸福度も高い「儲かるオフィスの仕組みづくり」を応援しています。また、来年1月からの「マイナンバー制度」対策相談も行います。週2～3回来所していますが、IT化推進の気軽な相談相手でありたいと思いますので、Macの活用法など聞いてください!

旭　勝臣(あさひ　かつおみ)さん
あさひプロボノ事務所
利用場所:オープンネスト

地震に備え、情報交換しましょう

神田にある建設会社に勤務後、2010年より現在の事務所を設立し、CPSに入居しました。50歳頃に建設部門の技術士の資格を取ったのですが、東日本大震災を経験したこともあり、弁護士や会計士の方々とともにプロボノ(専門知識やスキルを活かした社会貢献)として活動を行っています。建設のことは相談にのれますが、PC関係については苦手なので、何かの時にはご相談させてください。

(左から)松田浩行(まつだひろゆき)さん、鈴木達郎(すずきたつろう)さん、小田香里(おだかおり)さん
Gjパートナーズ(株)
利用場所:オープンネスト

人材紹介を行う、オープンネストの中央エリアにいる３人です

別々の会社にいたメンバーで2005年に会社を設立、2008年にCPSに入居。人材紹介の業務で企業の部課長レベル以上のポストを多く扱います。３人それぞれがヘルスケアや製造業、流通・小売業と得意分野が異なるためバランスがとれているのかもしれません。マラソンで18kg減量した経験があったり(松田さん)、育児真っ最中だったり(鈴木さん)、オペラやバレエに詳しかったり(小田さん)と個性の違う3人ですが、これからもオープンネストで心地よく仕事ができたらと思います。

市町村サテライトオフィスから

岩手県岩手郡・雫石町 四季折々の楽しみがある町

観光スポットも豊富な小岩井農場の故郷

CPS本館の4階にある「市町村サテライトオフィス」は、東京での販路開拓などを目指す地方自治体の東京事務所が集積するコミュニティ。今回は岩手県・雫石町の魅力をお届けします。

雫石は、岩手県の中部に位置する人口約2万人に満たない町。この小さな町が、実は温泉やスキー場といった豊富なレジャースポットと、あの小岩井農場を擁する見所の多い町であることを知る人は多くありません。そこで町では、2010年に現在の深谷氏が町長に就任したのをきっかけに、観光にも力を入れ始め、昨年は都営地下鉄を中心に雫石町のポスター掲示などを行い、魅力を伝えています。

雫石町役場で観光企画を担当する岩井真晴さんによると、「まだまだ東京から雫石に遊びに来て下さる人は多くありません。でもPRの効果もあって、少しずつ認知度は高まっているように思います」と手応えを感じている様子。最近では他県からドライブをかねて、雫石町に立ち寄る人が増えているそうです。

これからの季節、雫石町を訪れた際に必ず立ち寄りたいのが、名峰岩手山を背景に小岩井農場に根を張る一本桜(樹種:エドヒガン)。詳しい樹齢は不明ですが、約百年前に植えられたといわれています。この場所は牧草を収穫する畑ですが、かつては牛の放牧地。夏場、暑さが苦手な牛のための「日陰樹」として植えられたものだそう。町の名産品としては、小岩井農場の乳製品のほか、前沢牛と並んで高い評価を受ける「雫石牛」や、風味豊かな地鶏「南部かしわ」、南部木杓子、南部鉄瓶などの木工・鉄製品などがあり、おすすめです。

春は小岩井農場の桜、夏はアウトドアやゴルフ、秋は葛根田(かっこんだ)渓谷の紅葉、冬はスキーに温泉と四季折々の楽しみかたができる雫石町。この機会にぜひ、足を運んでみてはいかがでしょうか?

南部かしわ

しっかりと歯ごたえのある肉質と少ない脂肪が特長の地鶏。放し飼いの長期飼育によって育てられている。甘みとコクがあり、スープにしてもおいしい。

雫石牛

数々の賞を受賞する黒毛和牛。まろやかな独特の風味とコクに適度のサシが入った肉は、同じ岩手県の最高級ブランド牛、前沢牛にも劣らない評価を受けている。

網張(あみはり)温泉

十和田八幡平国立公園内にある、千年の歴史を持つ名湯。「見晴の湯」「白泉の湯」「温泉館」そして野天風呂の「仙女の湯」の4つの温泉が楽しめる。

桜の名所として近隣の人から愛されている小岩井農場。ドラマのロケに使われたことも。

雫石のヒト

雫石町役場観光商工課観光企画兼東京事務所グループ
岩井真晴(いわい・まさはる)さん

雫石町の観光を担当して5年。この土地の魅力を伝えるべく、さまざまな活動を行っている。「歌舞伎座の向かいにあるアンテナショップ『岩手銀河プラザ』は岩手の名産が揃っているのでおすすめです」。

コンシェルジュのおすすめ

中村 和彦さん

なかむら・かずひこ●2010年3月からアルバイトとしてCPSのコンシェルジュを務め、2011年12月から正式なスタッフに。今年1月より、ビジネスセンターで入居者のサポートを行っている。社会人劇団にも参加している。

ビジネスセンターが仕事を強力サポート

CPSの1階、コンシェルジュの隣にあるビジネスセンター。資料のプリントアウトや荷物の発送ができるのは知っているけれど、あまり使ったことがないという方も少なくないのではないでしょうか?

ビジネスセンターではコピーや出力のほかにも、FAX受信や封筒印刷、大判ポスター印刷など、ビジネスをサポートするさまざまなサービスを用意しています。なかでも覚えておきたいサービスは名刺印刷。10種類の用紙から好きな紙を選べるだけでなく、レイアウトのご提案なども行っています。ビジネスに関することは、どんなことでもお気軽にご相談ください。

10種類の紙から選べる名刺印刷

一番人気の名刺印刷は片面カラー1900円(100枚)から。オーソドックスな用紙から、質感のあるものまで、豊富に種類が揃う。

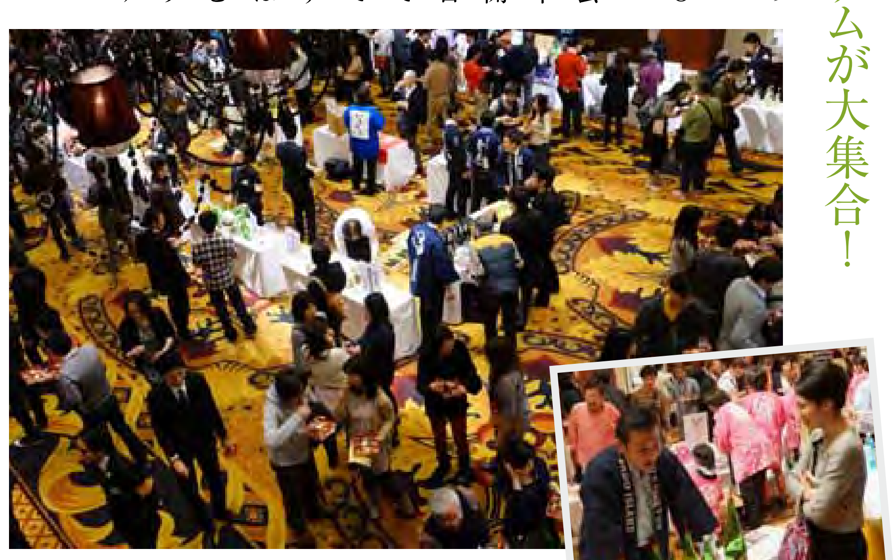
モバイルバッテリーで外出時も安心

最近、新しく始まったのが充電ケーブル付きのモバイルバッテリー貸し出しサービス。外出時のバッテリー切れの不安もこれで解消。1日100円。

ちよだ歳時記 地酒祭り 春の陣 2015

約200の酒・アイテムが大集合!

桜を愛でながら酒を楽しむ季節の到来とともに、東京・飯田橋では、『地酒祭り 春の陣』(主催:NPO法人FBO・料飲専門家団体連合会、日本酒サービス研究会・酒匠研究会連合会)が開かれます。2007年に始まり今回で14回目(春と秋に開催)。約40の蔵や団体が出展し、日本の伝統が生む酒の奥深さを改めて知ることができます。江戸時代までは一年中造られていた日本酒ですが、今では大手メーカーを除いては主に10月から翌年3月までに仕込む「寒造り」が基本。新酒が飲めるラストチャンスを楽しみながら、好みの銘柄探しのひとときを。最近では、若者や女性にも人気です!



800人限定、すごい熱気の会場。

日時:4月5日(日)12:00～15:30(最終受付15:00)
会場:ホテルメトロポリタン エドモント(東京都千代田区飯田橋3-10-8)
チケット:6000円(税込)※試飲、おつまみ弁当、フードチケット(4ポイント)、選べるお猪口を含む。チケットは前売りのみ
問い合わせ先:地酒祭り2015実行委員会(SSI事務局内)
tel. 03-5390-0715　※詳しくはウェブで! www.edmont.co.jp

日本酒発祥の地である出雲佐香神社に奉納する、枡付チケット(7000円・税込)も。